

はじめまして、私は、株式会社愛育安全相互自動車学校に入校していた教習生の鈴木岩夫です。よろしく願っています。

突然の要請大変失礼します。お許ください。

さて、私は、30年間勤めた小学校の教師の仕事を辞して農業を基盤にした「福祉と教育」の仕事に着手しようと思いい、昨年4月、ここ当別町高岡に移住してまいりました。

農作業がひとだんだんらくした昨年9月末、バスの運転が出来るように大型二種免許を取得すべく自動車学校に入校しました。年齢も年齢でしたから大変苦勞しました。同期で入った若い人達は私を置いてどんどん先へ進み免許を取得していきました。気がつくと教習予定時間はとっくに過ぎていて、ようやく仮免許受験です。

しかし、受けても受けても合格しません。9回目やよっこの思いで仮免許を取得しました。忘れもせせん11月20日です。

そうです。自動車学校が倒産する前日です。今考えれば、何か因縁を感じます。仮免許取得までが他人の何倍も苦勞したので、その分無駄にしたくないという思いも人一倍強くなっていたのでしよう。(この先、いったいどうなるのだろう・・・)という思いもありましたが、バスの仲間や大型一種の仲間たちと一緒にしようという行動にでていました。

努力の甲斐あって一週間後には、引き受け先も決まり教習を再開することが出来ました。しかし、それからも大変でした。

私は、中の島学園という教習所に入校して本免許取得に臨みましたが、場内課題(縦列駐車・方向変換・鋭角)の技量を上げることに大変苦勞しました。11月下旬といえれば1年でいちばん日没が早くなる時期です。教習コースを持たない中の島学園では、試験場の一般開放の時間(早朝6時30分より7時30分、夕方4時より6時までの3時間)しか場内課題の教習が出来ないのです。それも含中の島学園1校なら十分できるのでしょうが、何せその他の5校も同じ時間の教習です。1教習50分ですが、縦列駐車課題練習に二台も三台もバスが練習待ちで待機しているのです。暗くて目印となるものは見えないし、待ち時間ばかりが多くて実質の練習時間は四分の一といったところでしょうか。

また、場内課題ばかり練習していただけません。その他に路上教習があるのです。あっといいう間に10時間終了して本免許試験受験です。雪は降る、路面は凍る、気温が上がると水溜りが出来る、毎日毎日状況が変わります。それでなくても慣れない運転です。なかなか合格できません。

そこで、私たちは、試験場に一般開放の時間延長と土・日曜日の開放を要請しました。また、教習所協会に対しては、私たちから要請があったことを試験場に伝えてくれるようお願いしました。これまで、2度行ってきました。それから、破産管財人である開本弁護士さんには、石狩の教習所コースを開放することが出来ないのかを検討していただきました。12月の18日に行い、1月の7日に「無理でした。」という答えを頂きました。

そのようなこともしながら、わたしは、7回目ようやくバスの免許を手に入れることが出来ました。合格発表の掲示板に自分の番号が出たときには、同じ日に受けて合格した仲間と

抱き合って喜び合いました。3ヶ月間苦勞した分喜びも大きかったです。12月22日のことで

す。

おかげさまで、大型特殊免許は、1月8日1発で合格することが出来ました。この日までは、正直言って、自分のことしか考えられなかった私ですが、次の日からは多少なりとも他の教習生のことを気にかけることが出来るようになりました。調べてみると、なんと170名を越える教習生が被害にあっていました。

現在、私たちは、65名の教習生と連絡を取り合える状態ですが、約半数の方が新たな教習所に入校して免許を取得、又は取得中といったところですが、残りの半数の方が、仕事や学校で時間の都合がつけられず教習を受けることが出来ない状態です。中には、お金を工面できず踏み出せない方、お金が続かず途中で断念せざるを得ない方などとても残念な境遇にある方も少なからずおります。

しかし、私たちは、とにかくあきらめることなく一日も早く、安く、免許を手にするために連絡を取り合い、励ましあい、これまでやってきました。また、可能性のあるなしかかわらず無理を承知でいろんなところに薬をもつかむ思いでお願しいしてきたところです。

教習所協会に聞けば、今まで教習原簿を受け取りに来た方は、70名弱ということでした。とすれば、100名近い方が、いまだ足踏み状態であることが予想できます。きっと、この方々は、仕事や学校で時間の都合がつけられず教習を受けることが出来ない状態なのだと思います。

もし、石狩のコースが使用できることになれば、状況は大きく変われると思います。170名をこえる教習生が一人残らず免許を手にするを願わずにはいられません。どうか、様々な困難な条件はあると思いますが石狩のコースが使用できるようになるように特段のご配慮をお願いする幸いです。よろしくお願しいいたします。

自分も、農作業の始まる4月中ごろまでは、手伝えることがあればボランティアで応援したいと考えています。どうかよろしくお願しいいたします。

2009年3月13日

ナラサキ産業 様

株式会社愛育安全相互自動車学校

被害教習生有志の会

代表 鈴木 岩未

石狩郡当別町字高岡932番地33

電話 0133-26-4196(FAX 兼用)

携帯 090-5980-2195

